

Ⅱ 土木部各課の主な施策・事業の概要

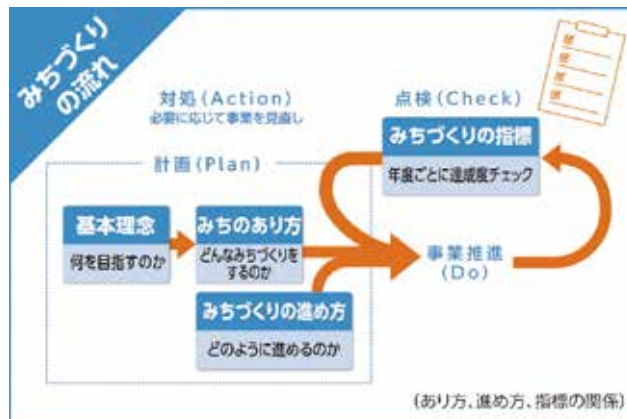
道路建設課

1 石川のみちづくり指針

新幹線開業効果を最大限に引き出し、県下全域に波及させ、その効果を持続・発展させるとともに、移住・定住の促進や産業・雇用の創出による地方創生を後押しすること、さらには、東日本大震災を教訓として大規模災害時における迅速な避難や救急活動を確保することなど、道路に期待される役割はより一層重要になり、かつ多様化しています。

このため、平成27年3月に、概ね10年間のみちづくりの方向性を示した新たな「石川のみちづくり指針」を策定しました。

本県では、このみちづくり指針に基づき、関係機関にもご協力を頂きながら、みちづくりを進めています。



基本理念

石川のかがやく未来を支えるみちづくり

本県がより一層かがやき、未来へ持続・発展していくため、これを支えるみちづくりを進めます。



みちづくりの進め方

県民と共に、効率的・効果的に進めるみちづくり

みち 2 「ダブルラダー輝きの美知」構想

「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想では、南北幹線の骨太化に加え、東西幹線の追加により県土をくまなく網羅する幹線道路網の形成を図ることで、県土の更なる一体化や新幹線開業効果の県下全域への波及、大規模災害時の迅速な避難・救援活動の実現等の効果を期待しています。



- ① **時間距離の短縮により県土の一体化を図ります。**
 - 県内各地に至る時間距離を短縮し、細長い県土のさらなる一体化を推進します。
 - ゆずりレーンや幅広い路肩の設置により、安全で快適な移動を確保します。
- ② **陸・海・空の交流拠点との連携強化を図ります。**
 - 鉄道、港湾、空港と道路との連携強化により、人・ものの円滑な移動を確保します。
- ③ **隣県や三大都市圏との広域交流圏を形成します。**
 - 隣県や三大都市圏へのアクセスを強化し、広域観光圏の形成や広域交流を促進します。
- ④ **能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。**
 - 魅力ある観光地相互の連携を強化し、県内各地を巡る回遊性を向上します。
- ⑤ **緊急時の道路ネットワークを確保します。**
 - 骨太で多重な幹線道路ネットワークを確保し、緊急時の迅速な救急・支援活動を支えます。

「ダブルラダー輝きの美知」構想 構成路線

南北幹線

- 北陸自動車道
- 能越自動車道
- 東海北陸自動車道
- 珠洲道路
- 輪島道路
- のと里山海道
- 国道249号
- 国道159号
- 河北縦断道路
- 月浦白尾IC連絡道路
- 金沢外環状道路
- 加賀産業開発道路
- 加賀海浜産業道路
- 国道8号
- 中部縦貫自動車道連絡道路（国道157号、国道416号）
- 南加賀道路
- 国道364号

東西幹線

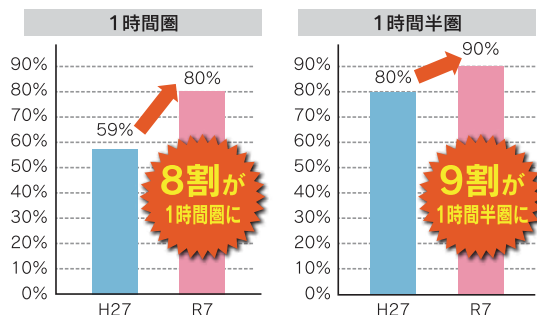
- 奥能登絶景海道
- 奥能登横断道路
- 門前道路
- 中能登横断道路（福浦港中島線、富来中島線）
- 能登中核工業団地 徳田大津インター線
- 七尾道路
- 七尾外環状道路
- 国道415号
- かほく東西幹線道路
- 国道8号（舟橋～県境）
- 国道304号
- 金沢井波線
- 金沢湯涌福光線
- 加賀産業連絡道路（川北縦貫道路、能美東西連絡道路）
- 小松白川連絡道路
- 中部縦貫自動車道

期待される主な効果

能登を通勤可能生活圏へ

能登・金沢の時間距離を更に短縮し、能登から金沢への通勤を可能とします。

■ 能登地域※から金沢への通勤可能人口の割合



※能登地域は河北郡以北

金沢港と加賀地域の拠点性の強化

金沢港へのアクセスを向上し、金沢港の振興と加賀の企業立地促進を通じた拠点性の強化を図ります。



3 人との交流を盛んにする活力あるみちづくり

■県内各地の時間距離の短縮による細長い県土の一体化

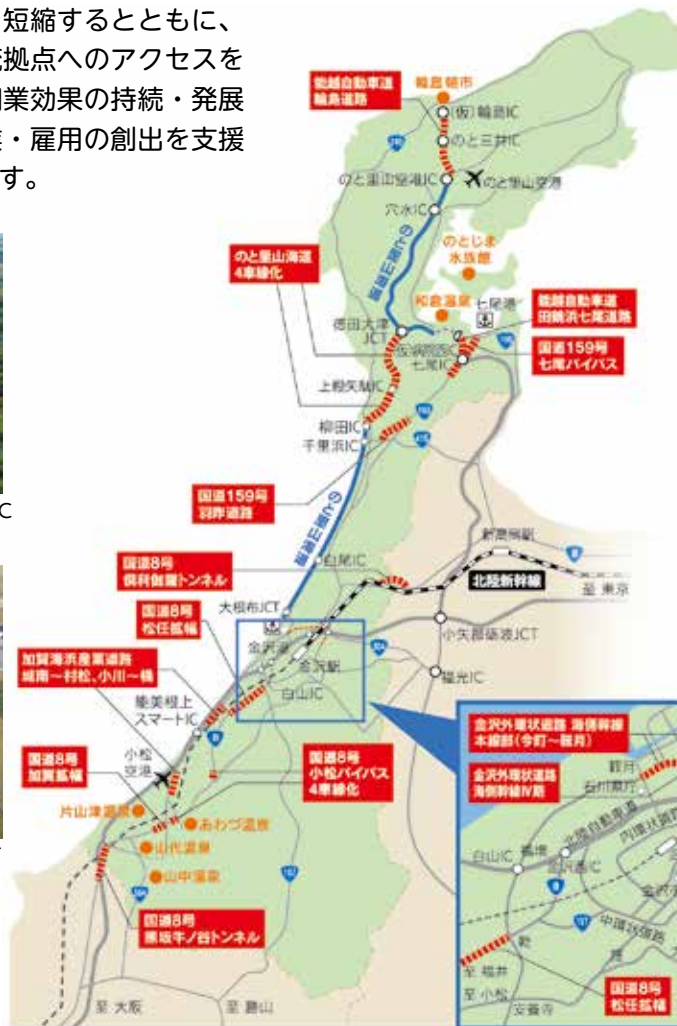
県内各地に至る時間距離を短縮するとともに、鉄道・港湾・空港などの交流拠点へのアクセスを強化するなど、北陸新幹線開業効果の持続・発展や、移住・定住の促進、産業・雇用の創出を支援するみちづくりを進めています。



のと里山道 4車線化 柳田IC～上棚矢駄IC



加賀海浜産業道路 白山市小川町～松本町 (令和6年春 供用予定)



能越自動車道 輪島道路 (令和5年内 供用予定)



金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ区間 (令和4年11月 山側2車線暫定供用)



※供用区間以外のIC名は仮称

■富山・福井・岐阜、三大都市圏との広域ネットワークの構築

■石川県に関連する高規格幹線道路・地域高規格道路



令和5年4月1日現在

広域交流を推進するため、三大都市圏とのアクセスを高める高規格幹線道路や、地域相互の交流や空港・港湾への連絡等を強化する地域高規格道路の整備を進めています。

■金沢から三大都市圏への所要時間

	東京	大阪	名古屋 ^{※(注2)}
現在 (令和5年4月1日)	5:10	3:20	2:30
将来 ^{※(注1)}	4:40	3:20	2:20

※(注1)将来とは、東海北陸自動車道・中部縦貫自動車道が完成(4車線)した時点。
 ※(注2)金沢西IC～一宮IC

道路の現況

道路は34,623路線、13,212kmとなっております。(令和4年4月1日現在)

- 高速自動車道 (北陸自動車道) …… 1路線 67km
- 一般国道 …… 14路線 617km
- 県道 …… 214路線 1,900km
- 市町村道 …… 34,394路線 10,628km

4 魅力ある観光資源を活かす「おもてなし」のみちづくり

■いしかわの優しい美知整備

幹線道路から、県内各地の観光地へと繋がる道路について、平成29年度より「いしかわの優しい美知整備」として、急カーブを解消する局所的な道路改良や待避所の設置など、走行性や安全性の向上に繋がる、ピンポイントで即効性のあるきめ細やかな整備を進め、石川を訪れる観光客や地域の方々の方々の利便性向上を図っています。



すれ違い困難箇所における待避所の設置



景観に配慮した防護柵の設置

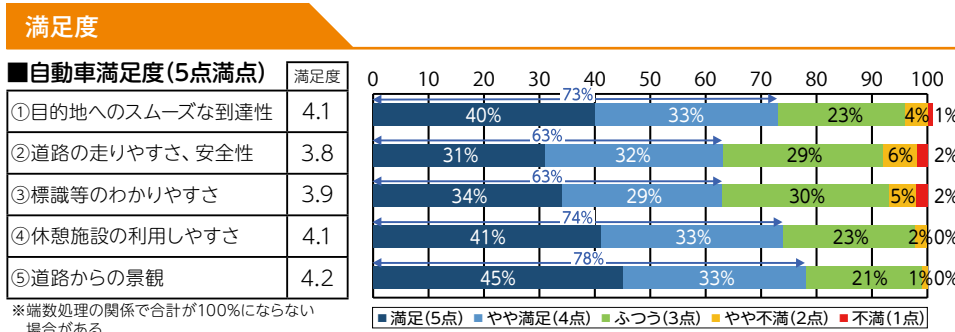


5 県民と共に、効率的・効果的に進めるみちづくり

■いしかわ道の通信簿

道路利用者のニーズを的確に把握し、みちづくりに反映するため、平成27年度から道路に対する評価とご意見をお聞きする満足度調査「いしかわ道の通信簿」を実施しています。

●令和4年度調査結果



いただいた主なご意見

- 改善を求めるとご意見
 - ・4車線化してほしい
 - ・路面状況が悪く走りにくい
 - ・案内標識がわかりにくい
- 評価するご意見
 - ・海岸線や里山景観がきれい
 - ・スムーズに移動できた
 - ・トイレがきれい、広い

■改善を求めるとご意見への対応事例

ご意見	対応
●4車線化してほしい	●4車線区間の延伸により、交通混雑を緩和 のと里山海道▶ (羽咋市柳田町地内)
●路面状況が悪く走りにくい	●傷んだ舗装や区画線を補修し、快適な走行環境を確保 県道宇出津町野線▶ (能登町上町地内)

令和5年度のアンケートを実施しています。ぜひご参加ください!

HPからアンケートページにアクセスしてご参加ください。
 「いしかわ道の通信簿」 <http://www.pref.ishikawa.jp/douken/michinotsushinbo/>

いしかわ道の通信簿 検索

スマホからも簡単アクセス!